
リアルすぎる鬼ごっこ

ぬじゃわきし

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

リアルすぎる鬼ごっこ

【Nコード】

N02520

【作者名】

ぬじゃわきし

【あらすじ】

リアル鬼ごっこは鬼ごっこにあらず。肝心の「鬼」の交代がないじゃないか！というわけで作ってみた「リアル」な鬼ごっこ。

公園にて。

「ねーねー。鬼ごっこしようよー。」

「そうだねー。」

「だれから鬼になるー?」

「ジャンケンで。」

「そだねー。」

「最初はグー!ジャンケンポン!」

小町というある青年が負けた。

「あーあ。小町くんね。鬼。」

「じゃあ、この注射刺して。」

浅見という生徒会長に注射器を渡された。なにやら気味の悪い液体が中に入っている。

「これ刺したらスタートね。」

「うん……。」

小町は注射を受け取った。しばらく自分の腕を見つめ、やがて注射器を刺し、中に液体を入れた。注射器の中にはウイルスが入っていた。

「スタートだ!みんな逃げろ!」

ウイルスが全身を回った時、小町は苦しみ始めた。呻き始めた。

「う……うごおお、うがあああ、んんがあああああああ! ! ! ! !」

苦しみながら小町は変身した。全身が発達し始め、顔つきも凶悪になった。頭を突き破って角らしき物体が現れた。そう。鬼になったのである。

変身がおちついた小町は「がああ!!!」と猛スピードで走り出した。

通称野菜ちゃんこと、皿田緑子は広い公園内を走っていた。鬼がいまどこにあるかわからない。鬼は変身した苦痛で苦しんでいるであろう、その苦痛を食い止める手段は二つ、そのうち一つはだれかにウィルスを移すことだ。だから必然的に鬼は人を追いかける。

ふと、その時、ずん、ずんずんと音が聞こえた。後ろを振り向くと鬼の姿が！

「いやあああああ！……！」

鬼は追いかけてくる。皿田は必死に逃げるが、鬼は速い。やがてがつと腕をつかまれて引っかかる。

「わっ！」

皿田は立ち止まる。感染した……感染した……。鬼は徐々に青年の小町に戻り、言った。

「悪いね。じゃ。」

そして逃げた。皿田は悲鳴を上げた。悲鳴を上げながら、彼女は苦痛に気づいた。そう、鬼に変身し始めたのである。

そんなこんなで、鬼は次々と人々を感染し、そのたびに感染者は鬼に変身して人を追いかけるということを繰り返していた。やがて時間が来た。鬼は物田という青年だ。生徒会長浅見は物田に正面から飛びついた。

「ぶぎゃおおおお」

物田は悲鳴を上げながら暴れまわった。だが浅見は振り落とされずに、抗ウィルス剤の注射器を打ち込んだ。物田は徐々に人間に戻った。

「はい、オワリと。」

「あー楽しかったねー。」

「そうだねー。」

「なんか癖になりそう。」

「明日もやる？」

「そうだねー。」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0252o/>

リアルすぎる鬼ごっこ

2010年10月10日06時12分発行